

2024年度 北見藤高等学校シラバス

〔教科〕 〔科目〕	〔公民〕〔倫理〕	3年	2単位	教科書	新倫理	副教材等	ワークノート	履修対象・ 使用教室 等	特進
教科・ 科目の 目標	(1) 人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせる。 (2) 現代の諸課題を追求したり解決に向けて構想したりする活動を行う。 (3) 広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。								
評価の 観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
	・古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめることができる。		・自立した人間として、他者と共によりよく生きる自己の生き方について、より深く思索することができる。 ・現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、理論的に思考し、説明したり対話したりすることができる。			よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度が養われている。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めている。			
評価 方法	*単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 *単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。								
評価 資料・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等		予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	単元テスト		6回(内容は下記参照)			60	25		
	小テスト		単元終了ごと			20			
	ポートフォリオ		単元終了ごと				25	40	
	授業参加		毎時間			10	25	30	
	その他提出物		都度			10	25	30	
〔観点別配分%〕		〔3観点の比重を%で示しています〕							
月進行 (計画)	〔単元名〕 学習項目名	配当 時間 (計画)	学習内容・目標(到達点) など			主な評価資料		評価の重み付け〔◎○〕	
4 5	第5編 現代の諸課題と倫理 第1編 現代に生きる自己の課題 第1章 人間とは何か 第2章 青年期の課題と自己形成	14	・生と死の問題について、具体的な事例を通して考えさせる。 ・環境倫理学の問題提起を、現実の環境問題と関連づけながら考察させる。 ・ホモ・サピエンスやホモ・ファール、ホモ・ルーデンスなどの定義を把握させ、人間存在の特性について理解させる。 ・青年期の特徴を、心理学的な定義などを通して知り、自分が置かれている状況を客観的に捉え直す機会を与え、青年期の課題を把握させる。			単元テスト	○	○	
				小テスト	○		○		
				ポートフォリオ		○	○		
6 7	第2編 人間としての自覚と生き方 第1章 人生における哲学 第2章 人生における宗教 第1節 キリスト教 愛の宗教 第2節 イスラーム 啓示と戒律の宗教	16	・哲学を生み出した古代ギリシャ人の精神活動や世界観を理解させる。 ・キリスト教について、イエスの説く律法の内面化、神への愛と隣人愛の教えを中心に理解させる。 ・イスラームの成立、宗教的な義務と戒律を中心にその教えの特徴について理解させる。あわせて、現代社会におけるイスラーム世界の全体像を理解させる。			単元テスト	○	○	
				小テスト	○		○		
				ポートフォリオ		○	○		
8 9	第3節 仏教 智慧と慈悲の宗教 第3章 人生の知恵 第3編 現代社会と倫理 第1章 現代の倫理的課題	14	・ゴータマの出家から悟りに至るまでの生涯を概観し、その思想を生んだ背景を理解させる。 ・中国思想における天や諸子百家の思想内容を、その歴史的社会的背景とともに理解させる。			単元テスト	○	○	
				小テスト	○		○		
				ポートフォリオ		○	○		
10 11	第2章 現代に生きる人間の倫理 第1節 人間の尊厳 第2節 自然や科学技術と人間との かかわり 第3節 民主社会における人間のあり方	13	・現代社会のものの見方・考え方が近代の人間性尊重の精神に基づいていることを理解させる。 ・近代哲学の成立について理解させ、理性的主体としての人間の尊厳の考え方が、現代にどのように生き続けているかについて考えさせる。 ・近代において、個人と市民社会がどのようなプロセスを経て確立されたのかを理解させる。			単元テスト	○	○	
				小テスト	○		○		
				ポートフォリオ		○	○		
12 1	第4節 自己実現と幸福 第5節 個人と社会とのかかわり 第6節 現代における理性的問題	13	・カントが人間の理性能力を吟味し、理性の限界をも明らかにしようとしていたことを理解させる。 ・19世紀の西欧の社会状況のもとで、実存主義が成立したことを理解させる。それぞれの実存主義的思想家が追究した人間の本来的な姿についての思索を通して人間のあり方・生き方を考えさせる。 ・現代社会において生命軽視の傾向が強まるなかで、生命への畏敬を説いた先人の思想を学び、その意義を考えさせる。			単元テスト	○	○	
				小テスト	○		○		
				ポートフォリオ		○	○		
学習の アドバイス	授業への参加、家庭学習で復習、提出物を大切にしてください。								